

ははしま丸の下船時には

泥落としマットをご利用ください。

『外来種をいれない!』



ゴングで靴をこすってくださいます。

カタツムリを食べてしまう外来種



土の中にはさまざまな生物がひそんでいます。もし他の土地から生物が運ばれてきたら、その生物が母島の生物の居場所をうばう可能性があります。母島の自然を守るため、**内地の土・父島の土**を母島に持ち込まないようご協力をお願いします。

マットを新しくしました!



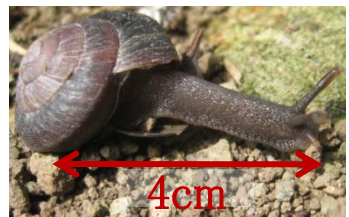
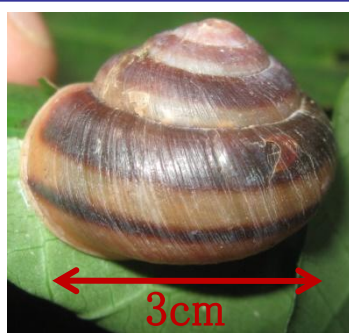
マットの絵のイメージは**小笠原固有のカタマイマイ類**です。島ごと、場所ごとに形態的な分化が著しく、外見が本土のカタツムリとは異なります。小笠原を特徴づける動物の一つです。泥を落として外来種を入れないことや、島の在来種を守りたいという願いを込めて、このカタツムリを代表に選び、マットを作成しました。

父島ではカタツムリが激減!

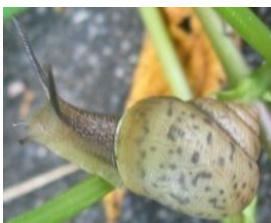
父島出張の際に、母島には生息していないニューギニアヤリガタリクウズムシ(上写真参照)を見ってきました。本種がカタツムリを捕食したため、周囲にはカタツムリがいまいません。母島には現在もたくさんさんの固有カタツムリがいます。これらを守るためにも、ウズムシを母島に持ち込まないよう、ははしま丸下船時の泥を落としにご協力ください。

母島固有種

母島には約五十種のカタツムリが記録されています。約二十種が母島列島固有種と言われています。また、新種発見の可能性もあります。写真は母島に生息するカタマイマイ類の一例です。



外来種



ウスカワマイマイ

アフリカマイマイ